

厚生労働省発薬食 0212 第 97 号
平成 27 年 2 月 12 日

薬事・食品衛生審議会会長
橋田 充 殿

厚生労働大臣 塩崎 恭久

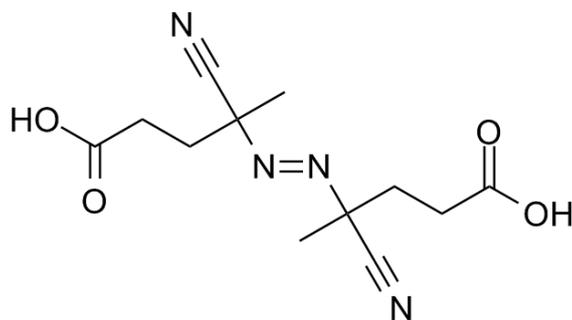
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和 25 年法律第 303 号）第 23 条の 2 の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

記

4, 4'-アゾビス（4-シアノ吉草酸）及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物からの除外について

4, 4'-アゾビス(4-シアノ吉草酸)及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物からの除外について



$C_{12}H_{16}N_4O_4$

CAS No. : 2638-94-0

名称 (英語名) 4,4'-Azobis(4-cyanovaleric acid)
(日本語名) 4, 4'-アゾビス(4-シアノ吉草酸)

経緯

上記化学物質は、毒物及び劇物指定令(昭和40年政令第2号)第2条第1項第32号の有機シアン化合物及びこれを含有する製剤に該当し、劇物となるものであるが、今般、事業者より、原体の毒性データが提出され、劇性を持たないものであることが判明したことにより、劇物から除外するものである。

用途

アクリル樹脂の重合反応を促進させるための開始剤

物理的・化学的性質

別添1を参照

毒性

別添2を参照

事務局案

4, 4'-アゾビス(4-シアノ吉草酸)及びこれを含有する製剤を、「劇物」から除外することが適当である。

【別添 1】

物理的・化学的性質（原体）

項目	
名称	(英語名) 4,4'-Azobis(4-cyanovaleric acid) (日本語名) 4, 4'-アゾビス (4-シアノ吉草酸)
CAS 番号	2638-94-0
化学式	C ₁₂ H ₁₆ N ₄ O ₄
分子量	280.28
物理化学的性状	
外観	白色粉末
沸点	503.6±50°C (1 気圧)
融点	120~123°C (分解)
密度	1.23±0.1 g/cm ³ (20°C, 1 気圧)
相対蒸気密度	—
蒸気圧	—
溶解性	0.3g/kg (20°C)
引火性及び発火性	—
安定性・反応性	安定性：通常条件では安定。 反応性：加速的に分解して主に N ₂ ガスを放出。自己反応性があり、SADT を超えた温度では反応が加速される (SADT: 60°C)。20°C を越えて貯蔵すると、徐々に分解。日光下では、緩やかに反応が進む。
換算係数	—
国連 (UN) 番号	3230 (SELF-REACTIVE SOLID TYPE F)
国連危険物輸送分類	Class 4.1 (自己反応性物質)
EC / Index 番号	220-135-0 / —
EU GHS 分類	未収載
その他	HS コード：2927.00000

【別添 2】

毒性（原体）

試験の種類	供試動物等	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : ♀ > 2,000 mg/kg	OECD TG 420 GLP 準拠
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂, ♀ > 2,000 mg/kg	OECD TG 402 GLP 準拠
急性吸入毒性 (ダスト)	ラット	LC ₅₀ : ♂, ♀ > 3.55 mg/L/4hr	OECD TG 403 GLP 準拠
刺激性	ウサギ	皮膚腐蝕性 : ♂ なし*1	OECD TG 404 GLP 準拠
	ウサギ	眼刺激性 : ♂ 中等度の刺激性*2	OECD TG 405 GLP 準拠

* 1 : バッチ除去後 24 から 72 時間までの皮膚刺激性の各評点から算出した皮膚刺激指数 (P.C.I.) は 0.1 であり、A.F.N.O.R. の基準より、無刺激物に分類された。

* 2 : 被験物質の投与後 1, 24, 48, 72, 96 時間及び 7 日後に処置眼の角膜、虹彩及び角膜を Draize の眼反応の判定基準¹⁾に従い採点した結果、平均合計スコア (MTS) の最高値は投与 1 時間後で 22.0 であり、投与 4 日後の MTS が 0.7 であったことから、Kay&Calandra の基準²⁾で当該被験物質は中等度刺激物に分類された。

1) : J.H. Draize, Appraisal of the safety of chemicals in foods, drugs and cosmetics, The association of food and drug officials of the United States, Topeka, Kansas, 46-51, 1959.

2) : J.H. Kay, and J.C. Calandra, Interpretation of eye irritation tests, J. Soc.Cosm.Chem., 281-289, 1962.

以下の 3) は、2) と同じもの。

3) : J.H. Kay, and J.C. Calandra, Interpretation of eye irritation tests, Journal of the Society of Cosmetic Chemists., 281-289, 1962.